

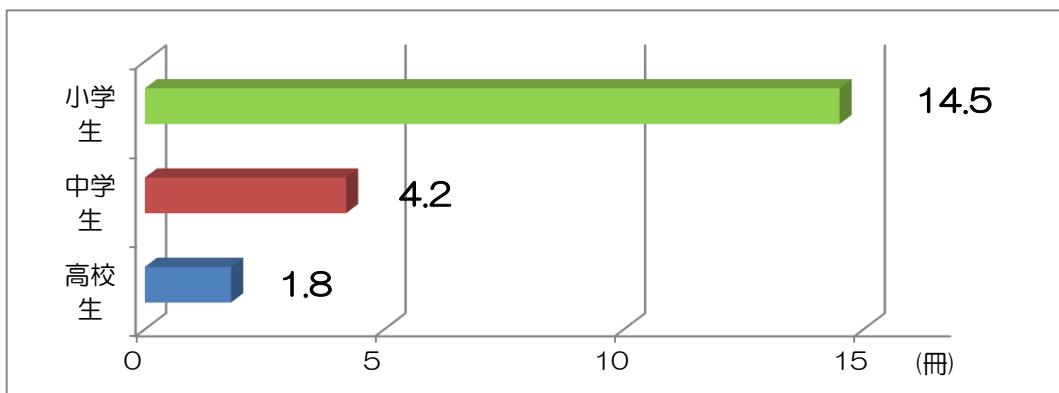
令和7年度「岩手県子どもの読書状況調査」集計結果

<調査の概要>

- 対象期間：令和7年10月1日～31日
- 対象児童生徒：県内各公立小・中・義務教育学校・高等学校から1学級を抽出し、当該学級の児童生徒から個別に回答を得たもの
※ 小(5年)4,787名、中(2年)2,778名、高(2年)1,570名
- 調査について：対象児童生徒の読書に係る状況及び各学校の読書推進活動や環境整備について調査したもの
- 調査方法：質問紙調査（オンライン回答）
- 備考：一部の設問において、調査方法の変更に伴う設問理解の差異により、例年とは異なる回答傾向が見られました。

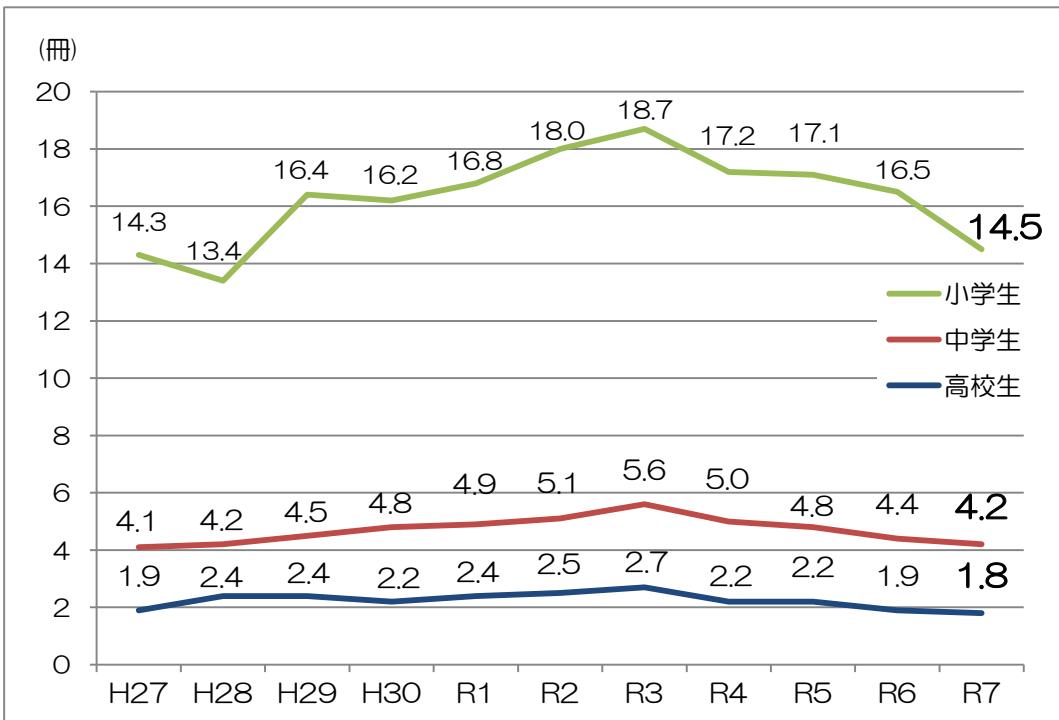
1 1か月の平均読書冊数

概要：学校種が上がるにつれ、読書冊数が減少しています。

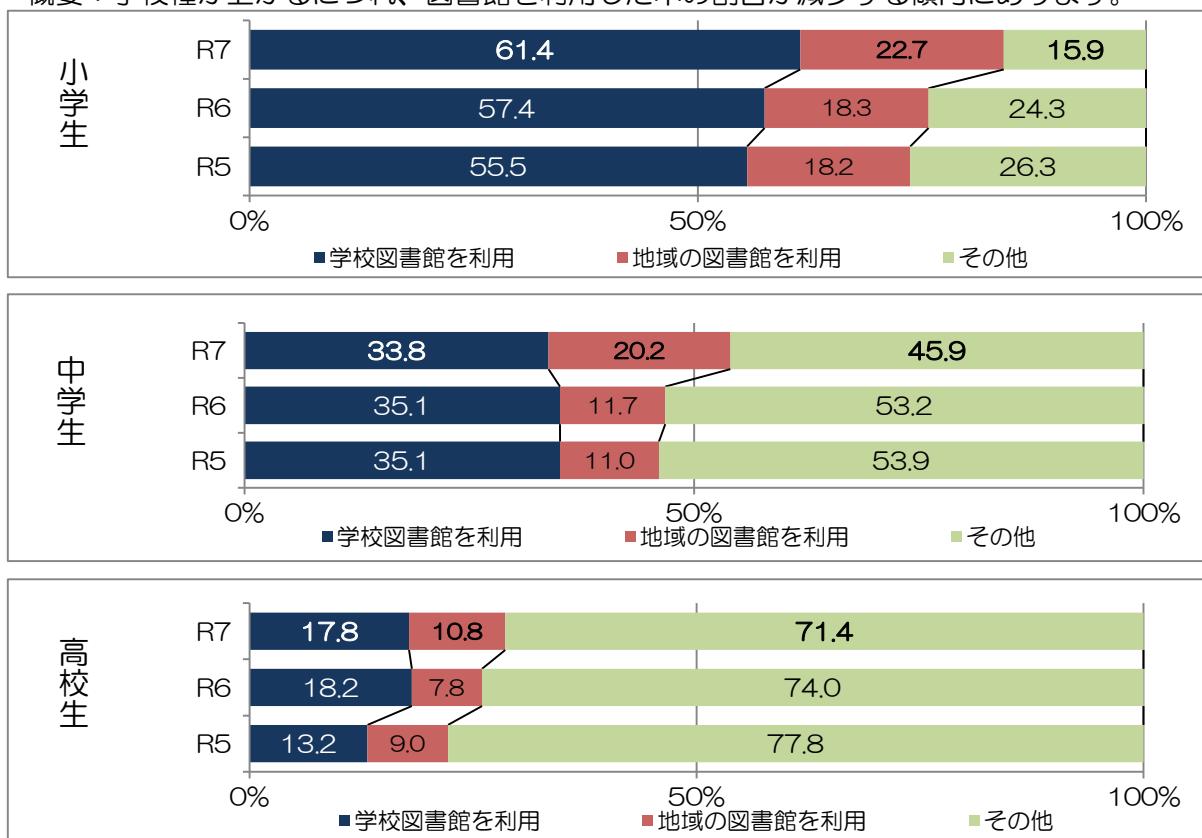


※ 1か月の平均読書冊数の経年変化

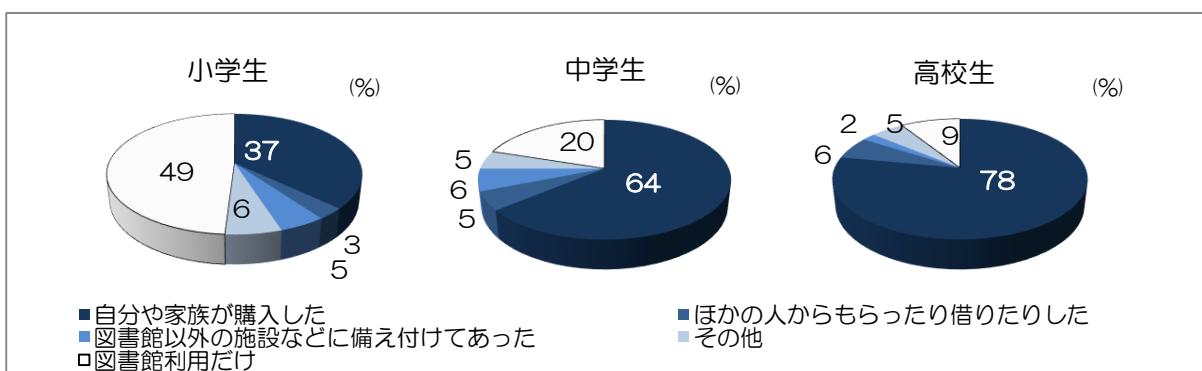
推移：令和3年度まではおおむね増加傾向にありましたが、令和4年度以降全校種で減少に転じています。



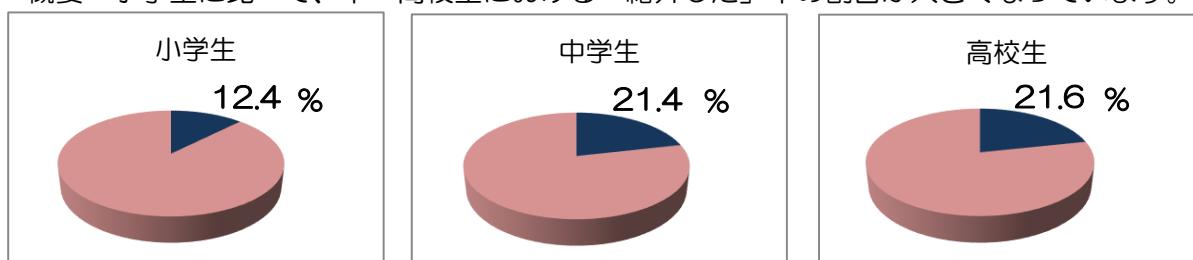
- 2 1か月で読んだ本のうち、学校図書館や地域の図書館の蔵書を利用した本の割合
 概要：学校種が上がるにつれ、図書館を利用した本の割合が減少する傾向にあります。



- 3 1か月で読んだ本のうち、図書館利用以外の本の内訳
 概要：学校種が上がるにつれ、「自分や家族が購入した」本の割合が増加する傾向にあります。



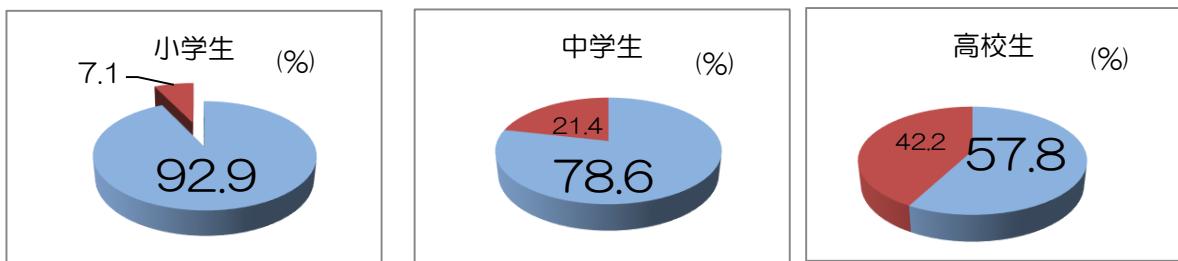
- 4 1か月で読んだ本のうち、友達や家族などに紹介した本の割合
 概要：小学生に比べて、中・高校生における「紹介した」本の割合が大きくなっています。



5 1か月で1冊以上本を読んだ児童生徒の割合

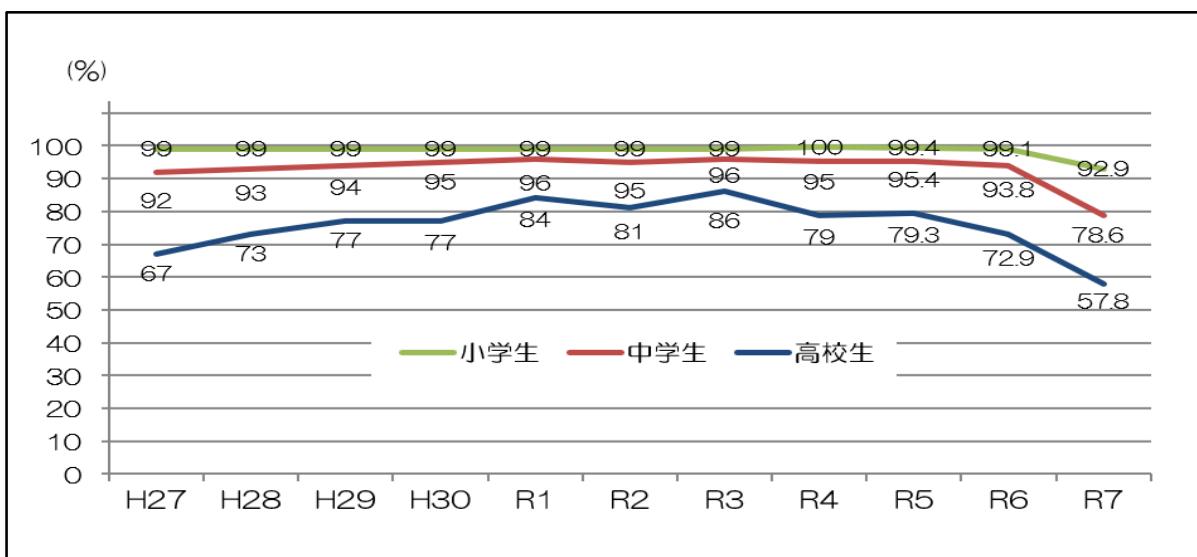
概要 9割以上の小学生、約8割の中学生、約6割の高校生が、1か月に1冊以上の本を読んでいます。

※ 調査方法の変更（オンライン回答）に伴う設問理解の差異により、例年とは異なる回答傾向が見られたと考えられます。



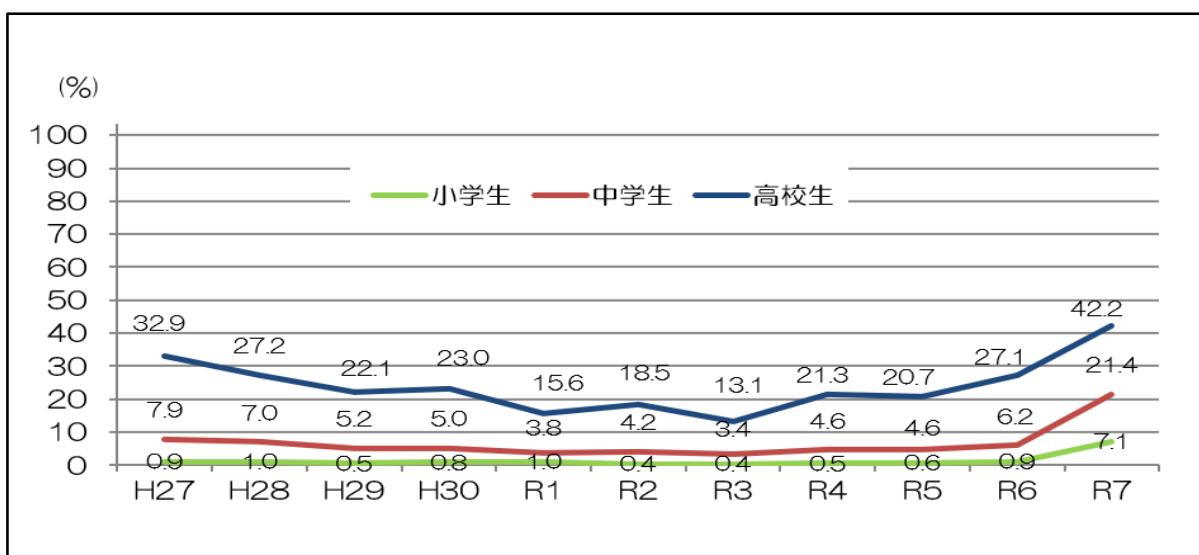
※ 1か月で1冊以上本を読んだ児童生徒の割合の経年変化

推移：全校種において減少傾向にあります。



※ 不読者（1か月で1冊も本を読まなかった児童生徒）の割合の経年変化

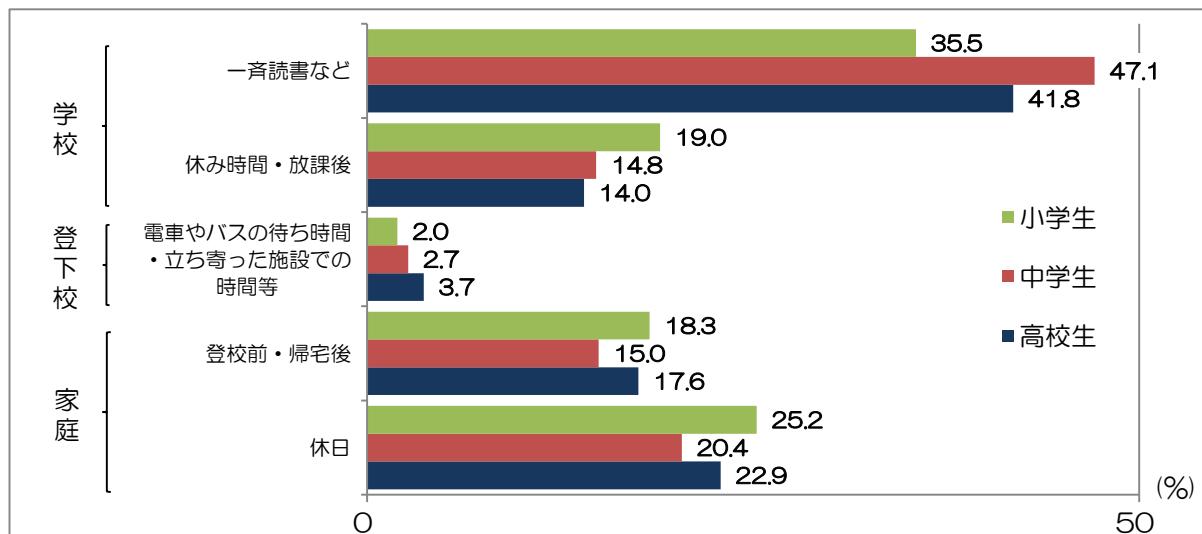
推移：全校種において増加傾向にあります。



※H25年度より県内全公立小中高等学校対象調査開始

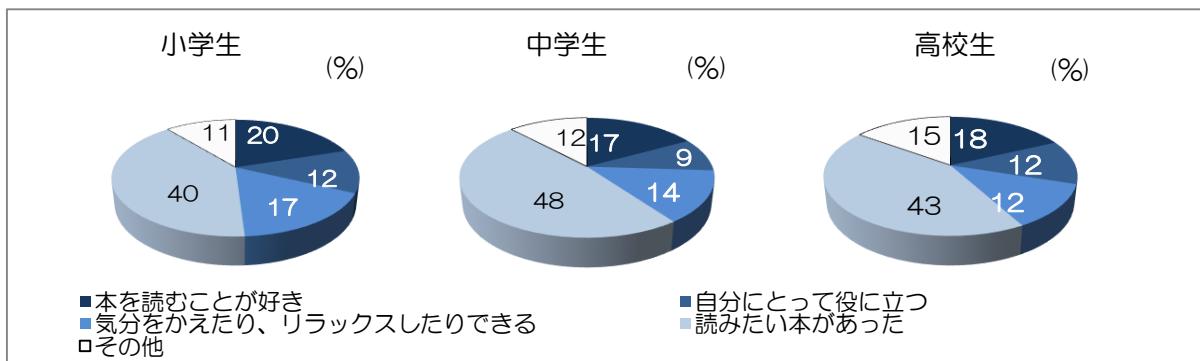
6 本を読んだ時間帯

概要：一斉読書などに加え、家庭等で主体的に本を読んでいる児童生徒が見られます。



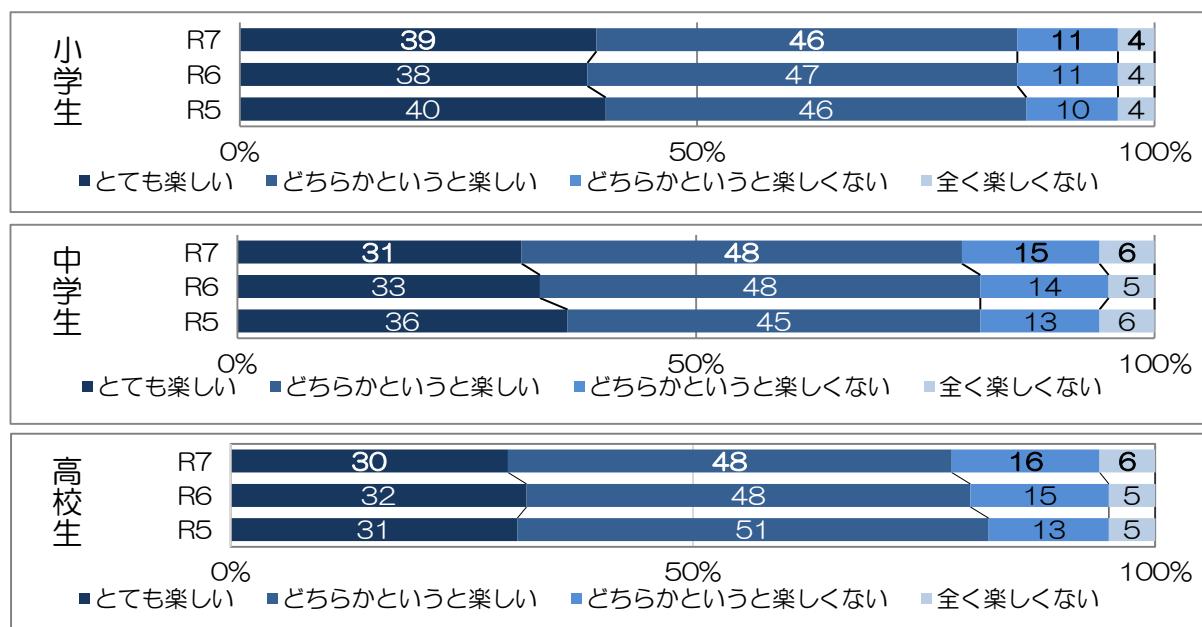
7 本を読んだ理由

概要：いずれの学校種においても、「読みたい本があった」ことを理由とする主体的な読書の割合が最も多くなっています。



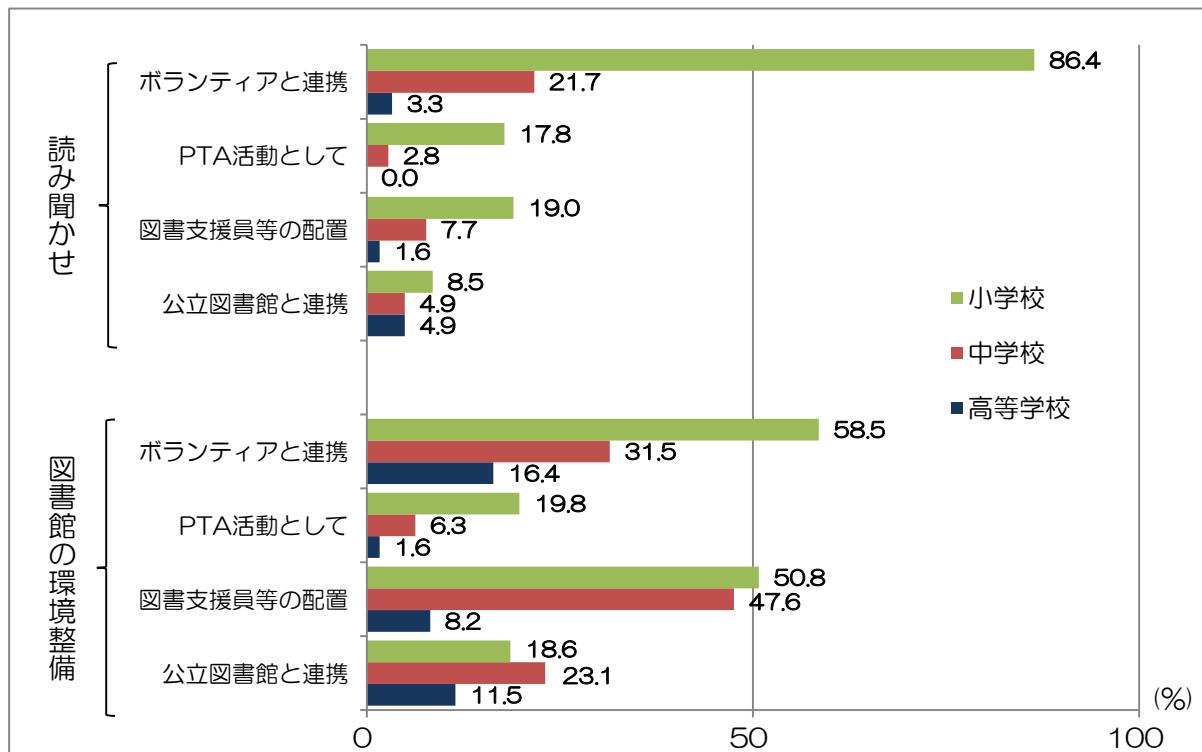
8 「読書」に対する意識

概要：約8割の児童生徒が「読書が楽しい」と回答しています。



9 学校内外の団体や個人等と連携した読み聞かせや環境整備を行っている学校の割合

概要：学校種が上がるにつれ、学校内外の団体や個人等と連携している学校が減少する傾向にあります。



【参考 (R6)】

